

産業別四半期見通し調査結果 (2021年7～9月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2021年4～6月期の現況

- 全12業種中、「晴れ(好調)」が1業種、「薄日(順調)」が2業種、「曇り(普通)」が5業種、「小雨(低調)」が3業種、「雨(不調)」が1業種となった。

◇2021年7～9月期の見通し

- 見通しは、「晴れ(好調)」が2業種、「薄日(順調)」が3業種、「曇り(普通)」が3業種、「小雨(低調)」が3業種、「雨(不調)」が1業種となった。方向感では、「やや上昇」が5業種、「横ばい」が7業種となっている。

天気図記号	2021年 1～3月期現況	2021年 4～6月期現況	2021年 7～9月期見通し
 晴れ(好調)	0 業種	1 業種	2 業種
 薄日(順調)	2 業種	2 業種	3 業種
 曇り(普通)	4 業種	5 業種	3 業種
 小雨(低調)	5 業種	3 業種	3 業種
 雨(不調)	1 業種	1 業種	1 業種



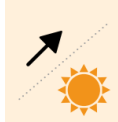


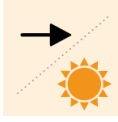


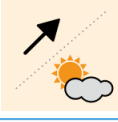


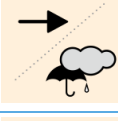


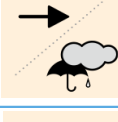


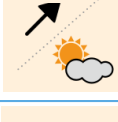


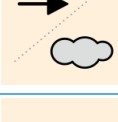



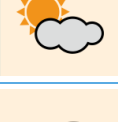
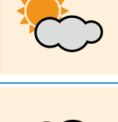






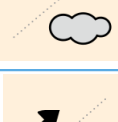



■7～9月期見通しのポイント



- 製造業では、生産用機械が「薄日(順調)」から「晴れ(好調)」に、自動車部品が「曇り(普通)」から「薄日(順調)」になる見通し。非製造業では、機械器具卸が「曇り(普通)」から「薄日(順調)」になる見通し。


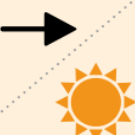




<産業別天気図一覧(12業種)>


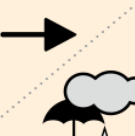
- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2021年6月中旬～7月中旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の126社



業種	前期 (21年1～3月期)	今期 (4～6月期)	来期 (7～9月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			



生産用機械	IT関連の好調が続くほか自動車関連の回復から受注は好調
<p>● 現況</p> 	<p>工作機械や半導体製造装置などの生産用機械の受注は、国内向けは自動車関連が低調だったものの、海外向けはIT関連を中心に好調だった。今後、IT関連は高水準が続くほか自動車関連の回復が見込まれ、全体での受注は好調な見通し。ただ、ボールネジなどの基幹部品の不足が一部で見られることから、生産への影響が懸念される。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 工作機械の受注は、国内では、主力の自動車関連の回復が見込まれ、全体では順調な見通し。海外は、東アジア、北米向けを中心に自動車・IT関連が好調な見込み。 • 半導体製造装置の受注は、データセンター向け、スマートフォン・PC向け、車載向けなど旺盛な半導体需要が続くことから、好調な見通し。



電子部品・デバイス	車載向けを中心に、幅広い分野で受注は好調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>部品受注は、スマートフォン向けが5G対応製品を中心に堅調だったほか、PCやタブレット、ゲーム機向けも順調だった。車載向けは新型車への搭載部品が増加し好調だった。今後も車載向けを中心に、幅広い分野で需要の増加が予想され、好調な受注が続く見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • スマートフォン向けは、5G対応製品の需要が堅調で部品受注も底堅い見込み。 • 車載向けは、海外を中心にハイブリッド車や電気自動車(EV)の需要増加から、部品受注は好調を維持する見通し。 • 各種製造装置向けの電子制御部品のほか、テレワークなどの巣ごもり需要の継続によりプリンターや調理用ミキサーなどの家庭用電気製品向けの部品受注も好調な見通し。



自動車部品	国内、海外向けともに受注は持ち直す
<p>● 現況</p> 	<p>半導体部品の不足による影響はみられたものの、部品受注は、新型コロナの影響で完成車メーカーが工場の稼働を停止した前年の水準は上回った。今後は、半導体部品の不足による生産への影響は不透明なもの、底堅い新車需要を受け、受注は持ち直すと思われる。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 国内は、底堅い新車需要を受け、受注は徐々に上向き見込み。 • 北米向けは、新車販売が順調に推移しており、引き続き底堅い受注を見込む。中国向けは、補助金などの施策により新車販売の増加が予想され、受注も順調な見通し。東南アジア向けは、タイやインドネシアで新型コロナの感染が再拡大していることから、新車販売の落ち込みが予想され、受注も低調を見込む。


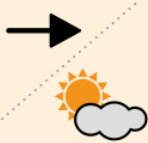
飲料製造	宴会・飲み会や移動の自粛が続き、宿泊・飲食向けは低調
<p>● 現況</p> 	<p>家庭用の需要は堅調だったが、宿泊施設や飲食店向けの業務用の需要は、大都市圏の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの影響から低調だった。今後も、新型コロナ感染防止のため、宴会・飲み会などの自粛が続くことから、需要は低水準の見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 果汁飲料やその他の清涼飲料水は、季節的に需要が高まる時期となりやや持ち直すと思われるが、新型コロナの影響により駅や高速道路のサービスエリア、観光地での需要回復は難しく、総じては低調な見通し。 • アルコール飲料は、清酒は宴会の自粛から需要は低調な見込み。ワインは、固定客による安定的な需要に加え家庭用需要に支えられ底堅く推移する見通し。


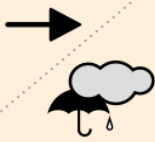
食料品製造	感染防止のための外出自粛により業務用の需要は低調
<p>● 現況</p> 	<p>大都市圏の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの影響により、宿泊施設や飲食店向けの業務用需要は低調だった。一方、家庭用の需要は、巣ごもり需要が一巡し一部に減少もみられたが、調味料やスープ類、加工肉などが堅調だった。今後、業務用は徐々に持ち直すとみられるが、全体を押し上げるまでには至らず、総じて低調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 味噌は、家庭用の需要は、減塩など健康志向の商品を中心に堅調な見込みだが、業務用は新型コロナの影響から低調な見通し。乾燥食品は、スープ類の具材を中心に家庭用は底堅いが、業務用は全般的に低調な見込み。 ● コンビニ向け惣菜は、緊急事態宣言や移動自粛などの影響から低調な見込み。


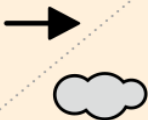
機械器具卸	機械需要は投資マインドの回復から順調に
<p>● 現況</p> 	<p>機械需要は、自動車関連は投資の抑制が続いたが、半導体関連は順調で、全体では底堅かった。また、消耗品需要は生産の回復から堅調だった。今後、機械需要は企業の投資マインドの回復が見込まれるほか、政府の投資促進策の下支えもあり、順調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工作機械などの機械需要は、自動車関連の持ち直しや半導体製造装置向けの増加が見込まれ、全体では堅調な見通し。制御機器や産業用ロボットなどのFA機器の需要は、設備投資の持ち直しに加え省力化ニーズもあり増加する見通し。 ● 機械に取り付ける切削用工具類や金属板などの消耗品受注は、生産活動の増加に伴い順調な見通し。



大型小売	安定した家庭内需要により、食料品は堅調な見通し
<p>● 現況</p> 	<p>食料品は、新型コロナに伴う内食需要などで売り上げは堅調だった。衣料品は、休業があった前年の反動で売り上げの増加がみられたものの、新型コロナ前の水準には至らなかった。雑貨は、化粧品など外出関連の需要が減少しており、売り上げは低調だった。今後も、感染防止のための家庭内需要により、食料品は堅調な見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 百貨店は、中元ギフトなどの売り上げは前年並みを見込むが、催事による集客効果は限定的とみられ、衣料品などは低調な見通し。 ● スーパーは、感染防止のための家庭内需要が今後も続くこととみられ、生鮮食品や総菜など食料品を中心に堅調な推移が見込まれる。

自動車販売	ハイブリッド車(HV)や軽自動車を中心に新車需要は底堅い見込み
<p>● 現況</p> 	<p>新型コロナの影響で落ち込んだ前年の販売台数は上回ったが、一昨年水準には至らなかった。ただ、これは半導体部品の不足により一部車種で納車遅れがみられたことによるもので、消費者の購買意欲に大きな影響はなかった。今後も、新車需要は底堅く推移する見通し。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新車販売は、半導体部品の不足による納車遅れはあるものの、環境性能の高いHVや軽自動車を中心に需要は底堅いとみられる。 ● 中古車販売は、新車の納車遅れにより下取り車が減少する懸念はあるものの、安定した推移が見込まれる。 ● 輸入車販売は、引き続き高価格帯の車種が好調な見通し。

公共工事	国土強靱化計画に伴う土木工事を中心に安定した工事量が続く見込み
<p>● 現況</p> 	<p>一昨年の台風19号に伴う災害復旧工事の発注が落ち着く中、三遠南信自動車道やリニア関連の大型工事の発注により、前年と同程度の工事量となった。今後は、災害復旧工事は減少するものの、国土強靱化計画に伴う土木工事などにより安定した工事量を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国では、三遠南信自動車道や国土強靱化計画に伴う防災及び減災を目的とする工事の発注が継続され、例年以上の工事量を維持するとみられる。
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県では、既存施設の改修工事や土木工事の堅調な発注量が続き、例年並みの工事量が見込まれる。 ● 市町村では、文化施設の新設工事や道路整備などを中心に、底堅い工事量となる見通し。

民間工事	新築住宅はウッドショックの影響により低調が続く
<p>● 現況</p> 	<p>民間企業の建設投資は、新型コロナの影響があった前年に比べ、一部で持ち直しがみられた。一方、新築住宅は、北米での住宅需要の急激な高まりに伴い、原料の輸入木材が不足する「ウッドショック」によって着工に遅れが生じた。今後も住宅関連の着工の遅れが続く見込み、民間工事全体でも低調を見込む。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業の建設投資は、製造業を中心に工場建設などの動きがあるものの、新型コロナ前の水準にはまだ至らないとみられる。 ● 住宅関連は、ウッドショックによる輸入木材の不足が続くとみられ、メーカーによっては、受注の制限や工期の遅れがさらに顕在化し、低調な見通し。

貨物	海外向けの工業製品を中心に持ち直し、貨物量は堅調を見込む
<p>● 現況</p> 	<p>工業製品の貨物量は、海外向けの機械需要を中心に持ち直しがみられた。食品や雑貨の荷動きは、業務用は低調ながら家庭用は安定していた。今後、貨物量は総じて堅調な推移が見込まれるが、燃料価格の上昇により収益面の悪化が懸念される。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産用機械の貨物量は、海外向けに加え国内の設備投資の増加により持ち直しが続く見込み。自動車部品・電子部品関連は、半導体不足の影響は不透明なもの、海外需要の高まりにより、全体では堅調な貨物量となる見通し。 ● 食品関連や雑貨・消耗品類は、新型コロナの影響で需要が増加した前年水準には及ばないものの、引き続き家庭内需要が下支えとなり、安定的な貨物量が見込まれる。

観光	連休やお盆休みを中心に低水準ながら観光客数は持ち直す見込み
<p>● 現況</p> 	<p>3度目の緊急事態宣言発令による旅行自粛の影響が大きく、観光客数は低調に推移した。7月に4度目の緊急事態宣言が発令されたものの、県民限定施策による下支えとワクチン接種による安心感の広がりにより、観光客数は低水準ながら、個人客を中心に徐々に持ち直す見込み。</p>
<p>● 見通し</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 旅客は、団体観光ツアーを催行できず低調に推移するとみられるが、個人の観光需要の増加により利用客数は持ち直す見込み。 ● 宿泊施設は、平日の予約状況は引き続き低調なもの、一部では連休やお盆休みを中心に予約状況が良好で、利用客数の増加が見込まれる。